

特別支援教育実践マニュアル

<No.11>

～ ディスレクシア特集号 ～

特別支援教育実践マニュアル〈No.11〉をお届けします。

今回は、ディスレクシアの理解の仕方とサポートの具体例を紹介
します。

ディスレクシアは、全般的な知的発達に遅れはないものの、特に
読むことが困難な発達障がいのひとつです。読むことが困難な場合、
学習が難しくなり、意欲の低下、自信の喪失につながるることがあり
ます。しかし、適切な支援があれば、学習に意欲をもって取り組む
ことができます。

ディスレクシアを正しく理解してサポートすることが大切です。

* ディスレクシアはLD(学習障害)のひとつです。LDには、この他「書字障害」や
「算数障害」などがあります。

事例 22

漢字がなかなか覚えられない。
ひらがなを思い出すことにも時間がかかる。

事例 23

英語の授業での会話練習はできるが、スペルが習得できない。

ディスレクシアの特徴

読む場面でみられる特徴

- 単語や文節ごとにスムーズに読めない。特に、語の途中で改行すると非常に混乱する。
- 助詞や文末などを勝手に作って読む。
- 読み間違えることが多い。(例:「訓練」→れんしゅう、「火山」→ようがん、「右」→ひだり、などと読む)



コラム(1)

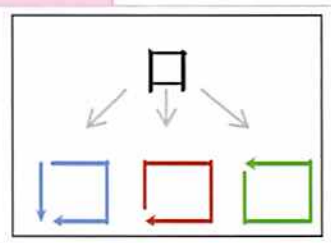
“読むこと”が苦手な場合、“書くこと”にも影響します。文字の形と読み方を結び付けて記憶することが苦手だと、読むことが難しいばかりか、思い出して書くことにも困難を伴います。

書く場面でみられる特徴

- 漢字のへんとつくりの位置が逆転する。
- 各部分の間隔が開きすぎるなど文字のバランスが悪い。
- 文法的な誤りの多い文章を書く。(例:「友だちを仲間にする」→友だちに仲間をする)
- 同じ文字を毎回違う書き順で書く。

月日

保木



コラム(2)

ディスレクシアの子どもたちの中には、「不器用」「運動能力が低い」「記憶力や注意力が弱い」「時間や方向の感覚が身につみにくい」といった傾向を併せて示す子がいます。

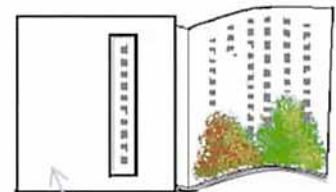
事例 2 2 漢字がなかなか覚えられない。ひらがなを思い出すことにも時間がかかる。

小学校3年生のSくんは、いつも授業に意欲的に参加し、発言もよくします。しかし、音読をするとたどたどしく、ことばのまとまりで読むことができません。文字や行を読み飛ばすこともあります。文を書くときには、ひらがなやかたかなを思い出すことに数十秒かかることがあり、漢字もなかなか覚えられません。最近では、黒板を写すこともしなくなりました。

支援① 読みやすくするために

- ・指で文字をたどりながら読む
- ・単語や文節ごとに線を引いて区切る
- ・漢字にルビをふる
- ・ほかの人が読むのを聞いて、文の内容を理解してから読む
- ・1行だけ見えるように厚紙をくりぬいたものを使う

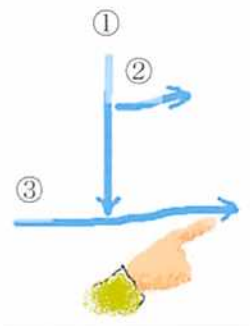
ホースで、火に水をかけます。はしご車のはしごがのびて、ビルの中にいる人をたすけます。



厚紙

支援② 覚えやすく、思い出しやすいようにするために

- ・キーワードを利用する（例：「り」はりんごの「り」）
- ・語呂合わせで覚える（例：春は「三人で日なたぼっこ」）
- ・字を大きく書き、動きで覚える
- ・50音表を手元に置いていつでも見られるようにする（例：机に貼る、50音表の下敷を使う）



支援③ 負担の軽減

- ・課題の量（音読の範囲、板書を写す範囲、宿題の量など）を調節する
- ・教科書や問題文を、代わりに読みあげる
- ・文章は、文字の形や書き方よりも、内容を評価する

コラム(3)

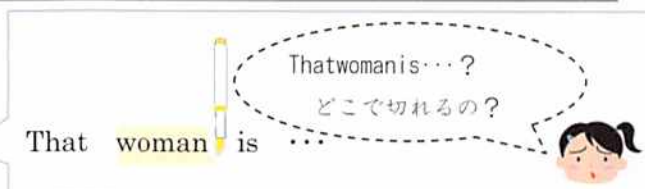
ディスレクシアの子どもたちの多くは、ただ練習量を増やすだけでは、文字を覚えることが難しい場合があります。自己流の工夫をしている子もいます。能力が低いのではなく「学び方が違う」と理解し、その方法を探り、認めることが大切です。

事例 2 3 英語の授業での会話練習はできるが、スペルが習得できない。

Tさんは中学1年生。勉強にもテニス部の活動にも、意欲的に取り組む生徒です。ところが、英語には大苦戦しています。スペルがなかなか覚えられず、ノートを取ることにかなり時間がかかります。本人は、小学校の頃ローマ字を覚えることも難しかったのですが、何とか覚えられたので、英語も頑張ればできる！と思っていました。しかし、テストの結果にショックを受けてばかり…。

支援① 読みやすくするために

- ・単語ごとにマーカーをひく
- ・かたかなで読みがなをふる
- ・1行ごとに定規をスライドさせて読む



ボート
boat

支援② 覚えやすく、思い出しやすくするために

- ・単語の意味を、絵や色などの視覚的なイメージで示す
- ・アルファベットの形をことばで特徴づける
- ・ローマ字読みでスペルを覚える



ボート
boat

* Tさんの場合は、自分のイメージしやすい体の部分や身近な物と結びつけて覚えました。

支援③ 負担の軽減

- ・課題の量（板書を写す範囲や宿題の量など）を調節する
- ・電子辞書やパソコンを使用する

コラム(4)

ひらがなやかたかなは、1文字が1音に対応しています。しかし、アルファベットは前後の配列によって、様々な読み方をします。日本語の文字や規則を努力して身につけても、英語の学習でつまづく子がいます。

ここに示した支援は、数ある方法の中の一つです。その子の実態に合う支援方法を探し、見つけていくことが大切です。

努力を認め励ましながらか支援していくことで、子どもは少しずつ自信を持つことができるようになります。

まなびサポート事業

教育研究センター〈美浜北小学校内〉 381-7960・7961

まなびサポート相談室〈見明川中学校内〉 390-5204